

学校配置人員 (総合教育会議資料)

No.	職 名	対 象	内 容	配 置 先	配置人数	予算	職 種	勤務形態	賃 金	29年度決算額
1	教科指導員	児童生徒	児童生徒に基礎基本を身に付けさせるため、補助教員としてチームティーチングにより教員と協力し指導を行う。	各小中学校	27人	市	パート	週5日、5h／日	時給1,120円×5h×200日	36,280,694
2	英語指導助手 (AET)	児童生徒 教員	小学校では、外国語活動において国際理解教育の推進を図る。中学校では、教科 (英語) の先生と協力し、英語の授業の補助を行う。	小中学校	13人	市	非常勤 特別職	週5日、7h／日	月給300,000円	50,459,837
3	小中一貫サポーター	教員 児童生徒	小学校の教員が、中学校に乗り入れ授業を実施した際の小学校の授業の代行等を行う。年間を通じて同じ科目の授業を代行し評価等も行う。	各小学校	16人	市	非常勤講師	週4日、4h／日	時給1,500円×4h×140日	13,314,000
4	介助員	児童生徒	肢体不自由な児童生徒が、安全に楽しく学校生活が送れるよう介助を行う。	該当小中学校	13人	市	パート	週5日、5h／日	時給950円×5h×200日	14,186,942
5	子ども支援員	児童生徒	LD (学習障害) やADHD (注意欠乏多動性障害)、自閉症など様々な障害のある児童生徒により学級運営が困難な場合、教員のサポートを行い、学級の機能保持 (児童生徒の個別支援・指導) を図る。	該当小中学校	16人	市	パート	週5日、5h／日	時給950円×5h×200日	17,671,470
6	さわやか相談員	児童生徒 保護者 学校	さわやか相談室の運営による相談活動 (生徒・保護者からの様々な悩み事相談、小学校訪問・家庭訪問等による支援、不登校児童生徒の相談活動)。	各中学校	11人	市 (県補助)	パート	週5日、5h／日	時給1,020円×5h×214日	13,971,035
7	スクールカウンセラー (SC)	児童生徒 保護者 教員	様々な要因により学校生活等に不安をもったり、不適応を起こしたりしている児童生徒やその保護者、さらに、指導にあたる教職員への助言を行う。	各中学校	8人	県	非常勤講師	各校2週に1回程度、 5h50min／回	日給30,800円	9,055,200
8	スクールソーシャルワーカー (SSW)	保護者 家庭	学校だけでは対応が困難な事例に対して、医学的、社会福祉的な視点から関係機関と連携し、問題の解決を図るとともに、児童生徒や保護者への支援を行う。		1人	市	嘱託	週5日、7.75h／日	月給230,000円	4,226,227
9					1人	市	講師	週2日、6h／日	時給1,750円×6h×8日×11ヶ月	924,000
10					1人	県	講師	年間90日、6h／日	日給12,000円	1,080,000
11	特別支援教育指導専門員	教員	小中学校の特別支援学級を巡回し、教員の指導や保護者への指導、助言を行う。また、幼稚園・保育所 (園)、学童保育室を巡回し、保育士や学童指導員に指導を行う。		2人	市	非常勤講師	各校学期2回 (特支学級1回ずつ)	時給1,700円×5h×15日×10ヶ月	731,000
12	通級指導教育指導専門員	教員	各小中学校の通級指導教室を巡回し担当教員への指導を行う。		1人	市	非常勤講師	各校学期1回	時給1,700円×5h×12日×10ヶ月	368,900
13	部活動外部指導者	児童生徒	中学校長管理のもと顧問教員の指導計画に沿い、専門的な指導を行う。	各中学校	34人	市 (県補助)	指導者	土日を基本に、指導者の事情に応じて適宜	月2,000円×12ヶ月	796,000
14	日本語指導員	児童生徒	日本語が理解できない児童生徒の日本語能力向上を図る。	該当小中学校	10人	市	指導者	該当児童生徒1人につき週2時間	時給1,500円	2,308,500
15	臨床心理士	児童生徒 保護者 教員	小中学校や幼稚園・保育所 (園) を巡回し、教員、保護者、幼児児童生徒等本人に係る課題・問題の早期発見、予防、相談活動、知能検査、検査後の支援助言等を行う。		3人	市	非常勤講師	年度当初は全小学校に1回、その後は各校の希望により	時給2,500円×8h×① (8日×10ヶ月)、 ② (125日)、 ③ (40日)	4,847,500